

# 新たな管理型最終処分場 候補地選定委員会

第5回委員会

平成29年12月6日

## (1) 第3回委員会で説明した4次スクリーニングのイメージ

### ○評価項目(想定)

#### ◆現地踏査（調査対象地内及び周辺環境）

- ・地形、地質の状況
- ・土砂災害の危険性の確認
- ・植生状況
- ・周辺の土地利用(水田・畑・果樹等)の状況確認
- ・建築物の立地状況確認
- ・既存道路の状況 等

#### ◆航空レーザ計測による地形判読

- ・国土交通省実施の航空レーザ計測結果による地形判読を実施し、土砂災害の危険性を確認

#### ◆概略施設計画案

- ・造成計画、施設配置計画等により、施設建設の可能性を検証  
(平面図、標準断面図等の作成)

#### ◆概算事業費

- ・概略施設計画案に基づく建設費用の試算
- ・施設の維持管理費用の試算
- ・用地取得の容易性（地権者数、判断できる用地取得の同意(又は同意の見込み)、用地取得費用の試算(路線価等を参考))

## ○評価項目毎の評価の内容(想定)

調査方法	想定評価項目		評価の内容(一例)
現地調査	現地踏査	地形・地質	尾根や谷地形の形状等により評価を行う
		土砂災害の危険性確認	現地において土砂災害の履歴や危険性等を確認し評価を行う
		植生状況	「自然林」又は「植林の手入」等により評価を行う
		土地利用の状況	現地において周辺の土地利用状況を確認し評価を行う
		建築物の立地状況	1軒でも建築物が存在する場合、利用状況を確認し評価を行う
		既存道路の状況	「舗装の有無」や「補修の必要性」等により評価を行う
机上作業	航空レーザー計測による地形判読		土砂災害の危険性の程度により評価を行う
	概略施設 計画案	造成計画の容易性	造成計画の容易性により評価を行う
		施設配置の容易性	施設配置の容易性により評価を行う
		埋立容量	埋立容量の大小により評価を行う
	概算事業費等	地権者の数	登記簿調査等を基に地権者数により評価を行う
		同意又は同意の見込み	判断できる用地取得の同意の有無により評価を行う
		用地取得費	用地取得費用(試算)により評価を行う
		建設費	施設の概算建設費用を算定し評価を行う
維持管理費		20年間の維持管理費用を算定し評価を行う	

## (2) 評価項目(案)

### ア 現地踏査

- ・これまでのスクリーニングは、地形図や航空写真等の既存資料に基づく机上調査により実施した
- ・4次スクリーニングでは、調査対象地の現地踏査を実施し、調査対象地及び把握しておく必要のある調査対象地付近の状況を目視で確認する
- ・現地踏査は、事務局及びコンサルタントで実施する

#### ①地形、地質の状況

調査対象地内の地形(土地の傾斜や形状(平坦性や起伏)、谷川の状況等)や地質(岩の露出等)を確認する

#### ②植生の状況

調査対象地内の植生の状況(植林、自然林、竹林、草地等)を確認する

#### ③土地利用の状況

調査対象地及びその付近の土地の利用状況(水田、畑、果樹園、作業場等)を確認する

#### ④建築物の立地状況

調査対象地及びその付近の建築物の状況(民家、空家、倉庫等)を確認する

#### ⑤既存道路の状況

調査対象地及びその付近の既存道路の状況(道路幅員、線形、舗装の有無、道路に隣接する土地の状況(民家、耕作地等)、河川・線路の横断等)を確認する

## イ 航空レーザ計測による地形判読

3次スクリーニングでは、地形図(1/25,000)等を使用して地形判読を行っているが、4次スクリーニングにおいては、国土交通省の航空レーザ計測結果によるさらに詳細な地形判読を実施して、土砂移動現象が発生する可能性を確認して相対的な評価を行う

## ウ 概略施設計画案

現地踏査結果を考慮して、概略の造成計画図及び施設配置計画図、標準断面図を作成し、造成や施設配置の容易性について相対的な評価を行う

※ スクリーニングを行うにあたり、調査対象地の比較や建設の可能性を検証するための概略施設計画案であり、実際の設計ではない(実際の設計は、建設予定地が決定した後で行う測量や地質調査結果を反映して実施)

## エ 概算事業費

概略施設計画案に基づき、概算事業費を算定する

### ①施設建設費

造成計画図及び施設配置計画図から求めた概算数量に他施設の積算を参考にした概算単価(年度補正、地域補正等を行う)を乗じて積算し、諸経費は環境省の基準を用いる

### ②維持管理費

他の施設を参考にして、供用開始から20年間の維持管理費を算出する

### ③用地取得費

調査対象地は全て山間部にあり、用地取得単価に調査対象地毎の差異が小さいことが想定され、敷地面積(買収面積)の大小により用地取得費の大小が決まるため、用地取得費は算定しない

※ スクリーニングを行うにあたり、調査対象地の比較のための概算事業費であり、実際の設計に基づくものではない

## オ 土地に関する調査(参考)

調査対象地内の土地に関する登記情報等を収集する

### (3) 評価基準(案)

#### ア 評価項目毎の評価基準(案)

調査方法	評価項目		評価項目毎の評価基準
現地確認	現地踏査	地形、地質の状況	評価項目毎に現地踏査結果をまとめ、その結果により相対的な評価を行う
		植生の状況	
		土地利用の状況	
		建築物の立地状況 既存道路の状況	
机上作業	航空レーザ計測による地形判読		土砂移動現象が発生する可能性について、相対的な評価を行う
	概略施設 計画案	造成計画の容易性	作成した図面を基に、造成計画や施設配置の容易性(建設の可能性)について相対的な評価を行う
		施設配置の容易性	
	概算 事業費	施設建設費	○: 平均値未満 △: 平均値以上 ×: 最高値
維持管理費		○: 平均値未満 △: 平均値以上 ×: 最高値	

#### イ 参考情報

机上作業	土地に関する調査(参考)	収集した登記情報等を整理する
------	--------------	----------------

#### ウ 候補地の選定

上記の結果をまとめた調査対象地毎の資料を用いて委員会審議を行い、候補地を複数箇所選定する

(参考) 今後のスケジュール

